

みどり

第35号

題字：村上昭史 園長



秋の一日、にぎわった「第5回みどり園まつり」

川部みどり園長 村上 昭史

みどり園まつりの日は、秋晴れの好天に恵まれ、おまつり日よりになりました。10時の開会からバザーが始まるまではみどり園わかば児童課の子ども達や職員による出し物でしたが11時頃には続々と人出があり、お昼にかけてはフリーマーケットやバザーに長蛇の列ができました。

今回は、ステージ出演を地元の方々に声をおかけし、地域のお祭を目指しました。お祭への参加だけでなく、ステージイベントに協力して下さった地域や関係機関の方々、バザーや環境整備等を支えて下さったボランティアの皆様のおかげで、

予想外の賑わいを見せ、500～600人以上の人出を推計する結果となりました。まさに地域と共にあるみどり園を実感させるもので、お力添えに感謝申し上げます。

また、わかば創立60周年記念茶会も催したところ、懐かしい諸先輩方にもお集まりいただき、昭和41年にみどり園がこの地にお世話になりはじめて46年間の歴史を感じ、たくさんの方々のおかげで成り立っていることを改めて思いました。みなさま、また来年のお越しをお待ちしております。

みどり園まつり

10月20日、気持ちの良い秋晴れの中、「第5回川部みどり園まつり」が開催されました。当日は、岡下市議会議員様や岩崎川岡地域連合自治会長様をはじめ、地域の方や関係者等多くの皆様が参加してくださいました。バザーやフリーマーケット、作品展示等も大盛況でした。

ステージでは、西棟の男子児童5人が司会進行を勤めました。西棟児童による力強いエイサー踊り、かわいい北棟児童の体操、職員によるバンド演奏、さぬき民俗芸能保存会の銭太鼓、地元川岡マジッククラブの南京玉簾、斯道学園の鳴子やソーラン、香川中央高校合唱部の美しい歌声、ボラえもんさんの手品、ミラクル・マリンさんの歌、白鳥太鼓香南同好会の太鼓演奏と盛り沢山の内容で楽しく、大いに盛り上がりました。

これもひとえに地域の方々や関係者のご協力とご厚情の賜物と感謝しております。利用者さんの笑顔を糧に、質の高いより良いサービスの提供を目指して、さらに一層努力を重ねていきたいです。(中村)

◆ 地域の人と ◆



「地域の人とみどり園まつりを盛り上げよう」をスローガンに、出演者を募集したところ多数の応募がありました。今年は最初から体育館のステージを使用す

ることにしていたので準備も万全。イベントは歌有り、踊り有り、太鼓有り、マジック有り、演芸有りとバラエティーに富んだ素晴らしいものになりました。地域の人もみどり園の関係者も出演者になり、そして観客になり大いに盛り上がりました。来年は今年以上に盛り上げましょう。(山口)

▲ 作品展示等 ▲



作品展示のコーナーでは、利用者や利用者の家族の方の作品を展示しました。利用者が日中活動で作成した紙粘土の群像、

包装紙を利用した蓑虫、洗濯ばさみで作った動物、個性溢れる絵画などを来園者の方に見ていただきました。また職員の生花クラブも、日々の練習の成果を発表させてもらいました。

展示即売コーナーでは、園芸や木彫などの生産品を販売しました。

(生花クラブ・小林)

■ バザーコーナー ■

地域の方たちにもすっかりおなじみになったみどり園名物のうどんにおでん。家族でそろって食べる味はまた格別です。フランクフルトは「今年はおいしさアップ」と評判。

フリーマーケットでは掘り出し物がいっぱい。みどり園の畑で採れたおいもはヒマワリの種のおまけつきとサービス満点。

皆様のご協力のお蔭で今年も完売致しました。

(藤田寿)



● 遊び場 ●

コーナーは「くじ引き」「スーパーボールすくい」「さいころお菓子くじ」の3種類でした。

たくさんの方に来ていただき、それも何回も来て楽しむ子ども達もいて大盛況でした。特にアイドルくじ引きが人気でした。中にはAKBの写真かと思っ

て袋を開けたら、イケメンアイドルで残念がっている男の子たちもいました。そんなこともありながら、皆嬉しそうに袋の中身を覗きあっていて、とても楽しい時間を過ごしました。(藤田絢)



わかば児童課60周年記念

笑顔で紡ぐ『六十年の歴史』

わかば児童課長 三井早苗

10月20日のみどり園まつりに合わせた、『わかば創立60周年記念お茶会』は諸先輩方のご参加を得て、盛大に無事終了することができまして心より感謝申し上げます。

当日はささやかな写真展も開催して、宇多津学園時代のセピア色の写真や、わかば学園時代の幼い笑顔や若々しい現職員の姿に、皆で歓声をあげたり時の流れの速さを思い知らされる貴重な時間となりました。

子ども達の着物姿でのお茶会でのお接待はいかがだったでしょうか。みどりっ子クラブのボランティアさんの陰ながらの応援があってこそ、交流の場となりました。

60年を節目に、私はこの歴史あるわかば児童課に勤務させていただいていることを誇りに思っております。今後もわかば児童課が県内の児童福祉を支える、信頼される事業所であり続けるために、歴史に羞じないように職員一同心を合わせて努力していく所存でございます。応援よろしく願いいたします。



60周年のお茶会を終えて



子ども達が楽しみにしていたことは、着物を着ることと、生菓子を食すること。

当日は、皆さんが可愛い可愛いと誉めてくれるものですから、きつい帯もはきにくいぞうりもみごとクリアで、がんばりぬきました。

この日のために、お茶会好きのボランティアが集まり、土曜日ごとに打ち合わせや子ども達のお運びの練習をしました。会場の飾り付け、生け花、着付けや化粧、髪飾りに至るまで、すべてボランティアでこなしました。

当日は、旧職員の有志も加わり、総勢14名のボランティアさんが、お茶会を陰で支えてくれました。それぞれが得意なことで、行事を支えて、楽しさを共有できる。みどり園まつりの醍醐味ですね。感謝！感謝！

(吉岡)

親子遠足(成人課)

10月5日、素晴らしい秋晴れの中、利用者と保護者、職員総勢81名で大型バスを2台貸りてニューレオマワールドに親子遠足に行ってきました。

ニューレオマワールドでは観覧車やジェットコースターに乗ったり、お弁当を食べたり、お土産を買ったり・・・。普段一緒に外出することが難しい利用者の方も、大好きなご家族や職員とともに楽しい1日を過ごすことができました。(杉山)



「香川県障害者スポーツ大会」



連日のゲリラ豪雨で天候が心配される中、9月8日県障害者スポーツ大会が開催されました。早朝には怪しかった天候も参加者のやる気が伝わり、開会式時には晴れ晴れとした空。児童課12名・成人課から11名が参加しました。開会式では古川さんが旗



手を務めました。競技ではみんなそれぞれに一生懸命全力で参加しましたが、中でも児童課男子リレーでは4人の好男子！が参加し、堂々の1位となりました。プレッシャーを感じながらも笑顔を絶やさず待機していた高校男子の横顔に影ながら感動しつつ、皆で応援しました。また、前日までの練習には参加できなかった人やコースに沿って走れなかった人たちも無事完走。皆さんの勝負強さを見ることができました。また3位までに入ると景品がもらえたり、バザーで購入するとガラポンができたり♪景品で溢れかえるカバン！満足そうな笑顔！！が最高の1日でした。(南棟 安藤・西棟 前田)



トピックス

「障害者虐待防止法施行を受けて」

障害者虐待防止法が10月1日に施行され、職員の人権感覚と支援スキルの向上が益々求められていると感じています。

みどり園では、園内研修の実施や強度行動障害に対する有効な支援プログラムの構築を模索するなど、様々な取組を行っています。

しかし、職員全員が共通した理念、知識、技術を持つこと、そのベクトル（方向、大きさ）を揃えることが容易でないことも事実です。

人、人、人、キーワードは人です。今後とも、職員一人ひとりが「自分の支援方法は間違っていないか？すべきことを怠っていないか？より良い方法はないか？」と常に自問自答し、支援の質が向上するように努めていきたいと考えています。

(川部みどり園次長 佐藤壽貢)

苦情解決処理状況

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

9月に1件の苦情申出がありました。解決しました。

＜研修会のご案内＞

今年度前半は、障害者自立支援法の改正や障害者虐待防止法の施行を受けて、様々な内容の研修を行いました。

10月からは、サービス管理責任者研修が始まっています。年明けには、地域移行についての研修会と相談支援従事者現任研修（2月21日、27日、28日）を開催予定です。奮って、ご参加ください。(有岡)

編集後記

昨年に引き続いて「みどり園まつり」特集号の発行を担当させていただきます。今年はおわば創立60周年記念とも相まって、懐かしい顔も集まり、例年になく盛大なおまつりとなりました。今年度のスローガン「私たちは家族一家族として望む支援を利用者に」を肌で感じられた日でした。(高田)

編集・発行 〒761-8046 高松市川部町418
香川県立川部みどり園 TEL(代)087-885-8600
E-mail:midorien@pref.kagawa.lg.jp
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/shogaihukushi/midorien/>